

校長室から

校長 武田 幹 弘

限られた時間を有効活用するために

もう6月も終わりを迎えようとしています。1年生は入学から、2、3年生は進級から、早くも12週間が経ちました。1年間は52週間とされていますが、3年生は家庭学習期間に入る1月30日まで残り約32週間です。夏休みや冬休みなどの8週間を除くと、実際に学校で過ごす時間は残り24週間しかありません。1、2年生も2月、3月の7週間を加えても、残りは29週間です。

1年間はあっという間に過ぎ去ります。与えられた時間はすべての人に平等ですが、その時間をどう使うかが重要です。社会に出ていく皆さんが求められる力の一つとして「前に踏み出す力（アクション）」があります。これは「一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力」と定義される能力です。

学校の勉強では正解が一つと決まっているものが多いですが、実社会では、正解が一つに決まっているケースは極めて少ないものです。そのため、正解が分からない中でも失敗を恐れずに前に踏み出す力が求められます。たとえ失敗しても、周囲の協力を得ながら試行錯誤を繰り返し、粘り強く取り組むことが大切です。

この力を磨くため、授業では課題研究の専門分科会活動や総合的な探究の時間がありますし、クラス単位での活動や学校祭、そして同じ目的を持って活動する部活動など、様々な機会が用意されています。

今後、限られた時間をどう使うかは、皆さんの将来にとって非常に重要です。これらの貴重な時間と限られた機会を有効に活用し、有益なものにしてください。

6月のトピックス

北北海道学校農業クラブ実績発表大会 6月12日(木)～6月13日(金)

幌加内高校で行われた北北海道学校農業クラブ実績発表大会に10名の生徒が出場しました。発表題目、出場生徒は以下のとおりです。

【分野Ⅰ類】

「水稻ハウスの活用～異なる培地を使ったイチゴの高設栽培～」園芸分会

出場生徒：3年 谷口友月、村上歩夢、三田地悠人

【分野Ⅲ類】

「プロジェクトsheep～羊肉の価値再発見～」乳肉加工分会

出場生徒：3年 吉田結奈、齋藤ころこ、藤田空、岡江志和

【クラブ発表】

「北の大地で未来を耕す～持続可能な農業の実現に向けて～」農生会執行部

出場生徒：3年 濱下透空、石館梨花、2年 高橋佳暉

出場した生徒は、大会に向けて日々準備や練習を重ねてきました。その努力が本番での自信や堂々とした姿につながったと思います。その結果、分野Ⅲ類で発表した乳肉加工分会は優秀賞を獲得し、8月20日（水）から22日（金）にかけて本校を当番校として行われる全道実績発表大会に出場します。

全道大会では、スムーズな運営ができるよう学校全体で準備に取り組んでいきたいと思います。

北北海道農業クラブ意見発表大会 6月26日(木)～6月27日(金)

旭川住民センターで行われた北北海道意見発表大会に出場しました。この大会は、農業高校生が農業に関する意見や考えを発表する大会です。参加した生徒たちは、緊張しながらもそれぞれのテーマについて熱心に取り組み、堂々と発表していました。他の参加者の発表も興味深く、刺激を受ける場となりました。

結果として入賞はできませんでしたが、発表を通じて学ぶことが多い大会となりました。



7・8月の行事予定

7/1（火）	求人票公開日	7/24（木）～28（月）	農業視察研修（3学年）
7/4（金）	校内技術競技大会	7/24（木）～8/17（日）	夏季休業
7/7（金）	遠別町海岸緑ごみ拾いボランティア	8/7（木）～8/8（金）	全道技術競技大会
7/19（土）	学校祭(一般公開)	8/17（日）	開寮・開所
7/23（水）	全校集会 開寮・開所	8/18（月）	全校集会

